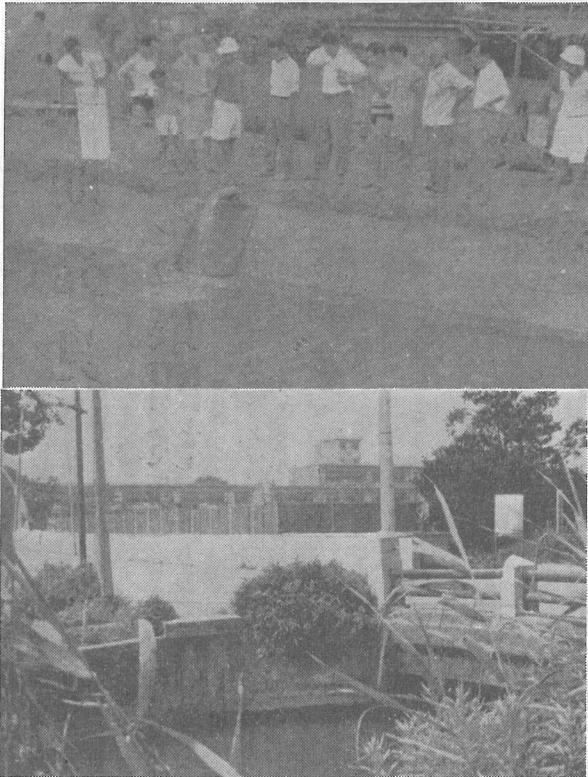


十年一昔（その十八）

△大島橋界隈▽



横芝小学校の正門を見た



大島橋で、この橋から下

て上堤方面に向って行くと東部耕地整理組合第一号用水路を渡ります。その渡る小さな橋が大島橋で、この橋から下流約二十メートルが今から約十年前の昭和三十七年頃から暫らくの間仮設ブールとして子供さん達の楽しい遊び場となっていましたことがあります。

その頃、梅雨があり夏休みが近づきますとPTAの皆さんは子供さん方の水難事故防止に頭を痛めたものです。

特に山や川と言えば栗山川の

周辺しか是れと言った遊び場所を持たない横芝小学校の皆さん心配は大変なものでした。始めの頃、栗山川水門の下流辺りを杭や板で囲いその中に泳がせ、岸には葦簾や筵を屋根にした見張台を設けてPTAが交代で監視に出たりしていました。そのうちに栗山川は大腸菌で汚れている」というので水泳が禁止になりました。そうなると子供さんは隠れて泳ぐか屋形海岸まで遠征?する、ということが多くなってきました。勿

かり仕事に掛り、この大島橋から下流約二十メートルを土俵や厚板で仕切り、ビニールを張って水漏れを防ぎ、昇降用の梯子を備付け、ブール取水用の井戸ポンプも設ける等

どうやらブールらしい形に仕上げましたと、両側はコンクリートであり、水に誘われていた子供さんは大変でなくとも「わざわざ海岸まで行かなくていい」と家人の人達はまだこんな立派なブールがしかも管内全部の

計画はしましたが長い夏の間の一回や二回では満足する筈もありません。そうちと言つても夏中子供さんに付添つてもいられませんので困っています。その後、横芝小PTAの方々がブール建設基金の募集をしたところが誰となく「学校の傍を流れている一号用水路を利用してもらつては」という話が出来ましたので早速PTAの役員さんが東部耕地整理組合にお願いをしましたところ「他ならない学校の子供のため」と組合長さん始め関係者の温い返事が

ありましたので「善は急げ」とばかり仕事に掛り、この大島橋から下流約二十メートルを土俵や厚板で仕切り、ビニールを張って水漏れを防ぎ、昇降用の梯子を備付け、ブール取水用の井戸ポンプも設ける等

とあの日、あの頃、嬉々として水に戯れている子供さん、

青く明るい色の横芝小学校の

ブールの囲いを眺めています

寄稿

町税収納状況 税務課から発表される

昭和四十五年度の町税収納状況が、出納閉鎖の五月三十日、例年どおり税務課から発表になりました。この町税

計画的な財政の運営を図り豊かで明るく住みよい町造りに役立てようとしておりま

昭和45年度町税収納状況

(単位千円)

区分	課 税 額	収 納 額	収 納 率
固定資産税	46,636	46,472	99.65
町民税	35,929	35,929	99.97
転自動車税	3,747	3,703	98.83
たばこ消費税	16,430	16,430	100.00
電気ガス税	11,063	11,063	100.00
鉱産税	144	144	100.00
計	113,959	113,741	99.81
滞納繰越分計	574	272	47.39
合 計	114,533	114,013	99.55
国保税	現年分	42,533	42,275
	過年分	716	299
合 計	43,249	42,574	98.44